

二松學舎大学・文学部シンポジウム

「コンテンツ化する ツーリズム」

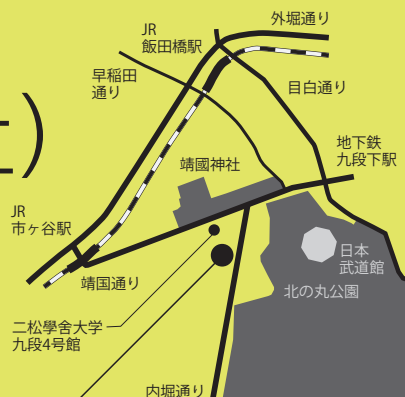
「スマホ・ゲーム・ 聖地巡礼」

リリース以来、瞬く間に世界中の人々を魅了し、その功罪まとめて社会現象となったポケモンGO。ARやGPSを前提とするこの位置情報ゲームは、実は現代社会の組成を理解するための恰好の題材でもある。本シンポジウムではこのゲームをめぐる考察を起点に、ポータブルデバイスとツーリズムのあいだ、そしてコンテンツとツーリズムのあいだについて多角的に討議する。

開催日・会場

3月
31日(土)

二松學舎大学
九段校舎1号館
中洲記念講堂



13:00-13:20

問題提起 松本健太郎 (二松學舎大学文学部准教授)

13:30-15:30

シンポジウム1 ポータブルデバイスとツーリズムのあいだを問う

遠藤英樹 (司会・立命館大学文学部教授)

谷島貴太 (二松學舎大学文学部専任講師)

神田孝治 (立命館大学文学部教授)

15:45-17:45

シンポジウム2 コンテンツとツーリズムのあいだを問う

須藤廣 (司会・跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授)

高岡文章 (立教大学観光学部准教授)

新井克弥 (関東学院大学社会学部教授)